
麻生リトル・ラグーメン



神奈川県川崎市

麻生ラグビースクール

梅雨をも忘れさせた麻生 RS の気迫に満ちた夏合宿

夏合宿担当 重住 英彰

今年の夏合宿は出発当日の午後まで強い雨に見舞われたものの、いざ集合時には嘘のように雨が上がり幸先の良いスタートでした。そして梅雨明け前の菅平でも 16 日(土)から 18 日(月)までグラウンドでは一瞬の小雨だけで絶好の合宿日和に恵まれました。その結果、ジャンボリーの対外試合やスクール内の学年対抗戦、さらに BBQ や花火大会も予定通りに行事をこなすことが出来ました。

そこで各学年の夏合宿の活動の紹介は各チーフコーチにお任せして、ここではスクール全体の生活や行事の様子と対戦記録を記載します。

【夏合宿の集団生活】

夏合宿ではラグビーそのものと並んで子供たちの学年縦割りの集団生活の体験にも重点を置いています。今年は子供たちを 7 班に分け、6 年生の班長と 5 年生の副班長のもとで寝食を共にする共同生活を送りました。日頃は学年単位での活動が中心であるために、班長は 3 年生や 4 年生の班員とは馴染みがなくコミュニケーションには工夫が必要でした。一方の初参加の 3 年生にとっても普段は口をきいたことがない兄貴の指示に右往左往することもあったようです。

しかしスクールとしてはこの機会を上級生と下級生が仲良くなる場として捉えるだけでなく、ラグビーのチームマネジメントを養う場と位置づけ、班毎に担当コーチを配置して子供たちの行動を側面から支援しました。

そこで子供たちの班別生活の一日を振り返ってみます。まず起床ですが、緊張のためか大半は早めに目覚めており寝坊はいませんでした。むしろ課題は素早い身支度であり、不慣れな 3 年生が手早い朝の集合時間に遅れがちで班長を悩ませました。

一方、食事の際には 3~4 年生の方が早く集合し、「班長は遊んでいる」と不満顔を訴えました。いざ食事となると、上級生はどんなに騒いでいても食べるのが早いのですが下級生は手が疎かになり、いつの間にか取り残されてしまいました。

また就寝時は、昼間の激しい練習による疲れのためか、枕投げをする暇も無く、どの部屋もあっという間に熟睡してしまい大したトラブルはなかったようです。

そして最終日の朝は練習前にチェックアウトの準備があり、しかも布団やシーツを畳み部屋を掃除しなければなりません。このような局面においてこそ、以下のような班長の個性が色濃く発揮されました。

- 第 1 班 かいと: 下級生を丁寧に諭す面倒見の良い兄貴型
- 第 2 班 はるろう: 各自の自由を尊重する放任型
- 第 3 班 こうき: 何事も副班長へ任せる管理型
- 第 4 班 こうせい: 無駄を廃した効率追求型
- 第 5 班 しょうじ: てきぱきした指示による統率型
- 第 6 班 こうしん: 弟分の相談相手になる包容型
- 第 7 班 けんたろう: 「黙って俺について来い」の豪放型

このようなリーダーシップの洗礼を受けた下級生が、来年はどのように展開するのか楽しみです。

夏合宿において風呂場の脱衣所は最大の忘れ物の発生場所で、合計 6 回の入浴機会には脱ぎ捨てた

靴下や下着が忘れ去られます。しかしお母様方の協力で持ち物への名前の記入が徹底されたので、持ち主が不明の忘れ物は殆ど見当たりません。初参加の3年生は緊張のためか脱衣所では用心深く忘れ物が極めて少なかった。また経験豊富な5年生や6年生は要領よく忘れ物を防いでいました。したがって、今年の夏合宿の忘れ物の大半は4年生によるものでした。しかも大方の予想を裏切ることなく、忘れ物の回数は「ゆう」と「かずき」の一騎打討ちでした。二人とも返還された忘れ物をその場に忘れ去るという豪放磊落ぶりを競いましたが、僅かな差で今年の栄えある？忘れ物王は坂脇優心君に決まりました。

【夏合宿の対戦記録】

《菅平ミニラグビージャンボリー》

17日(日)にはサニアパークで開催された第10回菅平ミニラグビージャンボリーに参戦しました。ここでは日頃は接点のない各地のRSを相手に腕試しを挑み、12戦4勝7敗1分の戦績を挙げました。

この大会の対戦は、中学年(3~4年)、高学年(5~6年)の括りで行われ、事前には相手チームの学年構成が分かりません。したがって、3年生や5年生は上級生を相手に苦戦を強いられることがあります。しかし善戦できれば自信に繋がるし、力負けしてもその悔しい体験が必ず次の展開の糧になります。

〈3年生〉

- 麻生 A △15-15△ 宇都宮市少年 RS
- 麻生 B ●5-45○ 佐野・館林 RS 合同
- 麻生 A ○35-0● 長野 RS
- 麻生 B ●5-50○ 山梨県 RS

〈4年生〉

- 麻生 ●15-30○ 江戸川 RS
- 麻生 ○60-0● 都留 RS

〈5年生〉

- 麻生 ●5-20○ 高崎 RS(全員女子)
- 麻生 ●15-25○ 魚津・吉鳥 RS 合同
- 麻生 ○40-5● 千葉 RS

〈6年生〉

- 麻生 A ●20-25○ 枚方 RS
- 麻生 B ○40-10● 京都プログレ RFC
- 麻生 AB ●5-30○ かえで RS

《学年交流戦》

今年は夏合宿初日に5年生と6年生との交流戦を組み調整状況を相対的に把握して合宿練習内容の参考とした。そして最終日に行う対抗戦の目標設定の材料としました。

- 5年生 ●5-20○ 6年生 KO 16日 09:00 10分×2本
- 5年生 ●0-10○ 6年生 KO 16日 17:00 10分×1本

《コーチ対抗戦》10分×2本

夏合宿に参加したコーチ人数が30名に満たなかったため、今年は初めて母親を器用しました。女性にはコンタクト禁止なので、いかに女性選手にボールを繋ぎトライを奪うかが勝利への鍵で、芝田さん、野田さん、小田部さん、諸田さんが大活躍され、会場が大いに沸きました。

- 三浦組 ●10-25 ○古田組

コーチ戦そのものでは、三浦組はノートライ、古田組の笹崎コーチ、菅田コーチと川口コーチが右サイドを走り抜き鮮やかなトライを奪い快勝しました。

《学年対抗戦》12分×2本

毎年、夏合宿の最後に行われる学年対抗戦は、合宿の成果を試す絶好の機会です。この対戦で、上級生は力・技術・スピードにおいて「一日の長」を見せ付けますが、下級生は「負けてもともと」の気迫で激しく当たりますので意外な展開が起こります。

3年生 ● 5-30 ○ 4年生

前半3年生Aは先制トライを奪い試合をリード。前半の終了直前にやっと同点の好試合。後半は4年生が奮起して3年生Bから5トライを奪い上級生の意地を示しました。

4年生 ○25-20 ● 5年生

前半は4年生が善戦して3対3の同点。緊張の中で自信に満ちた下級生の4年生がさらに攻撃を続けてリードを保つ。これまで空回りしていた5年生にエンジンがかかり大攻勢を展開したが後一步追い着かず。4年生が大金星！

5年生 ●10-25 ○ 6年生

5年生チーフの大坪コーチが「6年生に『肩』を借り、トライ3本奪う」という名(迷)言を豪語して始まった対抗戦。前半6年生はベストメンバーで臨み、縦への強い当たりと左右への素早いパス展開で挑戦意欲を剥き出しにした5年生を5対0で粉砕した。しかし後半、6年生Bを相手にした5年生は総力戦で猛攻撃を仕掛け、遂に2トライを奪った！
両学年ともに成果と課題が明らかになり、次への展開が楽しみです。

《6年生家族親睦戦》タッチラグビー 15分×1本

6年生 ○2-0 ● 6年生家族(父母兄弟)

前日に斎川コーチがタッチラグビーに馴染みのない6年生家族に俄レッスンを実施して当日に備えました。試合では家族が息子の対面に位置して対決を挑みました。家族チームは7名の父親コーチとOB兄が主力ながら母親と姉・弟も果敢に攻め込みボールを繋ぎ、スピード溢れる子供たちと互角に戦いました。試合を決したのは名(迷)レフリーの武井コーチによる采配でした。親に対して反則した子供には即シンビン退場！ 劣勢な家族チームにおいて、つい本気でプレーしてしまった父親コーチに対しては「大人気ないプレー」として子供たちにペナルティが与えられました。このような演出によって6年生が僅差で勝利しました。

【菅平賞の授与】

この夏合宿の間に最も成長した子供の成果を称え名誉ある「菅平賞」を授与しました。授与式では各学年のチーフコーチから受賞者の名前と選考理由が発表され、校長より記念品のキャップが贈られました。

〈3年生：宮本 大地〉

小柄ながらも果敢にモールに挑み、常にボールに絡んでピンチを救いトライチャンスを導き出した。このチームへの貢献を評価した。

〈4年生：荒木 鷲摩〉

夏合宿の期間中に一度もテント休憩することなく常にチームを引っ張り続けた。これまでは相手に斜めに当たりがちだったが、今合宿でプレーのスピードが増し正面から正確に当たるようになり、攻守にわ

たってチームを牽引した。

- ① この鷲摩が菅平賞の受賞式直後の昼食時に行方不明に！ 全員が着席して待つ中、コーチ陣が手分けして館内を探しても見つかりません。すると暫くして突然外から戻った鷲摩が屈託のない顔で「虫取りに行ってきた」と無事生還。末は大物大賞か？

〈5年生：中原 侑温〉

練習も試合も常に一所懸命なチームの盛り上げ家が、今回の合宿では「オーツボイスオ」の掛け声でスクール全体の盛り上げ家を担い、合宿全体の雰囲気をもたせた。

〈6年生：石野 創太郎〉

6年生の夏合宿の強化ポイントであったアタックの強化を最も体得し、ミニジャンボリーでその成果を遺憾なく発揮してチームに貢献した。また、その勢いを受けたコーチは足腰に痛みを覚えました。

これらの成果が今秋の県大会に生かされることを期待します。

このように子供たちとコーチがグラウンドでラグビーに集中することが出来たのは、5年生の夏合宿担当の方々による献身的なご支援のおかげです。早朝からの朝食準備に始まり、グラウンドでは終日にわたって給水などのサポートを続け、同時に山光館では食事の配膳をこなし、子供たちの就寝後には夜中の飲み水の準備と休む暇もない重労働でした。

本当にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

今年の夏合宿は梅雨明け前の穏やかな天気であったので子供たちに熱中症の気配もなく、練習を休んでテント内で休息をとる子供も限られました。また練習中に負傷して診療所で膝の靭帯損傷の疑いや亜脱臼などの診察を受けた子供たちも、帰宅後の検査の結果、いずれも今後の練習には支障がない軽症であることが判明し安心しました。

さあ～夏休みを満喫して、秋のシーズンに備えましょう。

以上

2016年夏合宿の総括

幹事長 加賀

合宿に参加したコーチとお手伝いの父母の皆さんお疲れ様でした。以下に夏合宿の総括を報告します。

1. 参加者は小学生単独で、ピーク110名が参加し、昨年の116名から6名減少した。

日程 内訳	15(金)				16(土)				17(日)				19(月)		
	バス往路		夕食	宿泊	朝食	昼食	夕食	宿泊	朝食	昼食	夕食	宿泊	朝食	昼食	バス復路
生徒	54		54	54	55	60	60	60	61	62	62	61	61	60	57
コーチ男	13		13	14	25	30	29	29	30	31	28	25	25	21	16
母	5		5	5	6	8	8	8	8	10	13	10	10	12	5
父	0		0	0	0	0	3	3	3	4	4	4	4	4	0
子供	1		1	1	1	2	2	2	2	2	3	2	2	2	1
合計	73		73	74	87	103	102	102	104	109	110	102	102	99	79
去年	77		77	78	94	100	109	108	110	115	116	105	105	98	85

2. 行きのバスは、17時10分黒川出発で国立ICから八王子・圏央道経由で、途中上里SAで夕食の弁当を車中で食べ、東部湯の丸SAでトイレ休憩して予定通り21時30分過ぎに到着しました。帰りは13時8分出発、上里SAと狭山PAでトイレ休憩し、予定通り19時前に帰着しました。バスは神奈中バスで行き2台、帰りトイレ付2台で車中ではDVDで楽しみました。
3. 宿は、秦野・厚木RSが同宿で、3階に女性・父、新館に子供7班と3～6年コーチ、旧館に低学年、3年・6年コーチとして、大広間での宿泊なしで対応しました。班担当コーチは1班から金・武井・熊谷・牛山・笹崎・古田・小山田コーチが専任して食事や班長の相談相手などを担当しました。また班長には目覚まし時計としてストップウォッチを支給しました。
4. 天気は、梅雨明け前でしたが雨の心配もなく、土曜朝から曇り、日・月は青空で小学校裏の山光館第2グラウンドで行い、今シーズン初めての柔らかな芝生を全面利用できました。今年の低学年は2年生2名が参加し個別メニューなどの練習をしました。
5. 花火は、グリーンプラザでのバーベキューの後に、グラウンドに移動して米元・大坪・清水・芝田・笹崎・河合コーチが打ち上げる迫力のある花火に子供たちも喜んで頂きましたが、調子に乗って全ての花火を打ち上げ、アンコール対応できなかったことが残念です。花火師全員反省。
6. 夜のコーチミーティングは大広間を利用して開催され、原則22時までと言うことで23時には終了し、その後は各部屋での2次会でしたが、毎晩5年ママたちも全員参加していただきました。総務部は熊谷部長以下、金・原田・宮澤・夏川・笹崎・古田コーチが担当していただき、初日から冷えたビールが飲み、その後も缶ビール・チューハイと焼酎につまみや缶詰など美味しいつまみが提供されました。会費は昨年同様ですが、年々酒量の減少やお酒・つまみの事前購入などで上手く収まりました。また、6年父母と川口コーチからビールの差し入れを頂き、ありがとうございました。
7. 試合は17日にミニジャンボリーに全学年が参加し、3年ABと4年は2試合、5,6年は3試合行い4勝7敗1分けでした。
8. コーチの試合は、18日月曜日の朝食中に12分ハーフで行い、フルメンバーが揃わないため、今年は5年母(コンタクトなし)も参加して頂き、2:5で古田チームの勝利でした。レフリー:佐藤満
9. 大きな怪我もなく、3年生1人が腹痛になりましたが、夕食には元気になり、救急対応部屋の利用もなく、コーチの試合では牛山コーチが膝を少し痛めた程度でした。
10. 宿での水分補給は持参したコップにて廊下に設置したジャグジーにて麦茶をサービスしました。また食事中は各班に担当コーチが入って、最後の1人が食べ終わるまで見守りました。班長と副班長の指名及び班割りを7/3に行いましたが、6年生遠征のため7/10に再度、子供たちに周知させ、班長には班長としてやることをまとめたマニュアルとストップウォッチを配布しました。忘れ物は毎年多くありますが、4年生の2人が目立ちました。集合時間などは概ね問題はありませんでしたが、班長が遅い班もありました。ジャンボリーの弁当は一昨年の食中毒があり、一括注文から各宿の個別対応となりましたが、今まで通りに宿・会場にて保冷に努めて対応しました。最後の打ち上げ時の校歌斉唱も夏合宿のしおりに記載した効果か良く歌えていました。最後に夏合宿反省会兼打上げは8月21日に実施予定で、反省項目は??です。

以上

勉強会あれこれ(4)

4年コーチ 佐藤 満弘

ここではルールについて触れて見ましょう。ルールそのものではなく、解釈といったものです。議論ではなく私の経験から、こうではないかと説明をしたのです。

<”直ちに”について>

ルールブックを読みますと、”直ちに”という言葉がよく出てきます。特にタックルの項では頻繁に出てきます。県のレフリー研修会でも”直ちに”は何秒かという質問が出ました。

これはレフリーの主観の問題でもあります。私の場合は 1 2 3 とタイミングをとったとき、1 2 が直ちにと理解しています。

直ちにボールを放さなければならない、直ちに立ち上がらなければならない、直ちに相手を離さなければならないというケースです。

タックルをされて相手側に向いて倒れた場合、抱えていたボールを味方側に置き直すのは 1 2のタイミングで行えば、”直ちに”であり、”ワンプレー”です。

倒れたときが 1 置き直したときが 2 です。

抱えていないでボールが相手側におかれた場合は微妙です。

* 子供たちにコーチングするとき、タックルされても倒されるまでボールを抱えているように教えたら良いでしょう。

ゴールライン寸前でタックルされ、抱えていたボールを腕を伸ばしてゴールラインにタッチダウンをしたときはトライを認めます。“直ちに”であり、“ワンプレー”です。

タックルが発生し、レフリーがタックラーに”離れて”と声をかけ、1 2 3 で離れなければノットロールアウトウエイを取ります。このときは 1 2 3 です。

<アドバンテージの解消—戦術的利益ってなんだ>

地域的利益とは容易に理解できますが、戦術的利益とはどういうものかは難しい判断です。

トップリーグを観戦中、初めてみたアドバンテージの解消—戦術的利益を紹介します。

攻撃している相手側がノックオンをし、そのボールをキャッチした側が味方にパスした瞬間にレフリーは解消を宣言しました。

そのとき、味方側は、バックラインがキチンと出来ており、そのままパスを廻すことにより容易に地域を確保することが出来るし、トライを奪うことも出来ると判断したのです。

<コンタクトプレーは近くで見よう>

多くの反則はコンタクトポイントで発生します。

プレーヤーの邪魔になると考えてか、離れて見るレフリーがたまにいます。

これは決していいことではありません。

特にタックルポイントでは近くに寄り、タックラーに対しては”離れて”、ボールキャリアーに対しては“放して”と声をかけなければなりません。離れていては声かけもできないのです。

DAGS



秋に向けて

DAGSコーチ 曾我 浩

今年のDAGSの夏合宿は、7月22日(金)から、25日(月)まで行われました。

A チームは、人数がすくないことから、2年生と3年生の構成ですが、日を追って声が良く出るようになり、一体感が生まれてきました。

その成果は、強豪の高崎RSにも勝利にも表れ、自信がついたことと思います。

C チームは、麻生とグリーンで20数人と大所帯ですが、よくまとまっており、パススキルも高く、楽しい年代ですが、伝統?の声がでないことを克服すれば、県内の最強チームです!

今回も、DAGSのOBがたくさん応援に来てくれましたので、みんな。

これからは、合宿で得た経験や、前向きな気持ちを、さらに発展させ、海老原キャプテンを中心にひとつになって、県大会優勝という大きな目標に向かって、チームが一丸となってがんばります。

引き続き、ご支援よろしくお願ひします。

夏合宿に行って

DAGS2年 萬場 康生

今回の合宿では、自分の中ではハンドリングを意識しました。その中でも走り込んでもらうことと長いパスをほうれるよう努力しました。前よりもパスは伸びるようになりましたがまだ2対1や3対2の時に流れてしまうことが多々あったのでそこを訂正していきたいです。これから試合のシーズンなので今回の合宿で学んだことを生かしてやっていきたいです。

夏合宿を終えて

DAGS2年 太田 佳吾

初の合宿、周りについていけるか心配でしたが、無事に終えることができ良かったです。これからは、チームの足を引っ張らぬよう、練習、頑張りたいと思います。

夏合宿を終えて

DAGS1年 池田 昂生

夏合宿では膝の痛みが強くなってしまい、最終日に休んでしまい悔しい思いをしました。

技術だけでなく自分の身体のケアもしっかりしていきたいと思います。

試合で思ったことは、中学生になって人数が増えコートも大きくなって当たりも強くなりました。体力をつけ当たり負けしないよういっぱい食べて頑張ります。

夏合宿を終えて

DAGS1年 都留 光平

今回の夏合宿では、練習メニューが変わる度に声が出なくなったり、疲れたときに集中力が切れた。今後は、そういう点に気を付けていきたい。

夏合宿を終えて

DAGS1年 久松 豊夢

合宿で試合を何回かやり、強い相手は、声をださないと勝てないということを学びました。

僕は、フルバックなので声をださないとラインが足りなくなって敵にぬかれたりするので、これからも声をいっぱいだしていきたいと思います。

目標もっと低く強いタックルをしたいです。

夏合宿を終えて

DAGS1年 森 天(そら)

今回の合宿では、声を出すことを目標にしていました。合宿が始まった時には、僕も1年生も皆、声が出ていませんでしたが、合宿をやっているうちに声を出すようになってきました。これからの練習でも、合宿と同じように声を出していきたいです。



夏合宿を終えて

DAGS1年 村松 京弥

中学ではじめての夏合宿に参加してみて、きつい練習や、辛い練習もあったけど、いざ試合になってみると練習の事を思い出しスムーズにできた。

試合では、二人目が遅く、声あまりに出でなかった事が欠点で、そこを直していきたいです。

初めての合宿

DAGS1年 坂脇 優来

DAGSに入って、初めての合宿に参加しました。内容はたくさん走ったり、タックルの練習をし、とてもハードでした。その成果として、タックルの姿勢が今までよりもしっかりし、パスのミスも減ったように思います。練習はキツかったですが、その分身に付いたので、よかったです。また、色々なチームと試合ができたことも、よい経験になりました。今後の課題としては、試合中に流れてしまうことがあるので、パスの練習をしっかりとしたいです。ボールを迎えに行くという意識を持ち、流れないように身体で覚えられるようになりたいです。秋の大会では、合宿や今までの練習の成果を出せるよう、頑張りたいと思います！

夏合宿を終えて

DAGS1年 森 敦(森 天父)

コーチの皆様、合宿運営にご尽力いただいたご家族の皆様のおかげで、無事に菅平合宿に参加できました。ありがとうございました。

私は、1日だけの見学でしたが、天がいい仲間に恵まれていることを感じる事ができました。

小学校の時ほどは、頻繁に練習をみれていないのですが、身体つきがだいぶしっかりしてきているなあと感じるものの、まだまだ体幹や基礎体力の部分では、周りのメンバーに後れをとっている印象を受けます。

厳しい意見かもしれませんが、レベルアップを図るため、明確なテーマや目標を設定し、自分を甘やかすことなく、でも楽しく練習を積み重ねてほしい、と思います。

今後もよろしくお願い致します。



6年生



2016 夏 菅平合宿

チーフコーチ 伊藤 信一

今年も暑い夏が、菅平夏合宿が、やって来ましたね。天候の方は梅雨明けが遅れた影響もあり逆に雨天や雷の方が心配されましたが例年に比べて比較的暑くなく過ごしやすい気候でした。

今年は初めて参加するメンバーを含め 18 名が夏合宿に参加、毎年の事ながら合宿は特別ですね。合宿と言う何時もと違う雰囲気がそうさせるのか普段は見せない集中力と大きな声に気持ちの入ったプレー、こんなに出来るものなのかと驚かされます。

今年の成果としては 2 日目のミニジャンボリーで関西のチームを相手に互角の勝負を見せてくれた点で、強い相手に確りとファイト出来る様になりました。本当に大きく成長してくれたなど実感いたします。

また、この春からこなしてきた強豪チーム相手の対外試合での経験が活かされてきたとも思います。

18 名全員が最後の最後までやり切ってくれました。本当に強く逞しくなってくれたと思います。

このモチベーションを維持して行ければ、県大会、ファイナル、ヒーローズと必ず良い結果が出せると思います。あと残り約半年、最後までやり切りましょう。

今年もミラクル！夏合宿

6年コーチ 外岡 幸隆

強豪との対外試合(連戦)。苦戦続きだった6年生。最近の田園A戦に連勝し自信をつけながらも、相変わらず、「声のでない」、「手だけタックル」、「接点でファイトせず」・・・課題を抱えながらの夏合宿入りでした。

ラグビー漬けの3日間、厳しい練+指導を乗り越えた選手たちは、見違えるように、「声のでて」、「タックルに入り」、接点でも関西の強豪チームとも「激しいボール争奪戦」を繰り広げました。やはり「菅平ミラクル」はありました！少し年をとった？外岡も涙腺がゆるみました。

これからミニ合宿、交流戦を経て、県大会に向かいます。まだまだ、取るべきところで簡単にミスをしてしまう・・・など課題はありますが、練習を重ねて、「こころ ひとつに トライを奪い」、「勝利を我のモノ」にしてほしいと思います。

小学生最後の夏合宿を終えて

6年コーチ 武井 智之

高原の強い日差しも、怖いような雷や雷雨もなく、近年にはなかったとても爽やかな気候の中、みんなと小学生最後の夏合宿を終えることができた。

さらに、テントに避難する熱中症予備軍も、完全に練習ができないような、重度な怪我人もなく、有意義な練習をすることができた合宿であったと思う。

サニアパークでの関西強豪との試合も、良い戦いができたと思う。

来る県大会に向け、課題を克服するため、さらに厳しい練習を重ね、県大会優勝。そして、その先のファイナルカップに向け、一段ギヤを上げて行きましょう。

コーチも出来るだけ、励ましの声を張り上げ、頑張ってバックアップします。

最後にうれし涙を流させてください。お願いします。

感動の夏合宿

6年コーチ 山崎

みんな素晴らしかった。感動しました。合宿中、何回か涙がこぼれそうになりました。

二日目の朝から本格的に合宿が始まりましたが、いつもの「くせ」なのか、はじめは気合が感じられませんでした。練習を進めるにつれ、声も出るようになり、ボールに執着し、前で前でプレーしようとする気持ちが感じられるようになって来ました。

そして二日目の試合。結果こそ「1勝2敗」でしたが、内容は胸を張っていいと思います。

みんながいつもより「大きな声を出し」、「一歩前でプレーをし」、「みんなでゴールラインを目指す」ことができました。前日に初めて練習したリップを使ってトライが取れたのは驚きでした。

本当に子供たちは可能性の塊ですね。私のようなおじさんの物差しでは測れないものをみんなが持っています。

これからも、合宿で感じたことを思い出して、声を出そう！ 前へ出よう！ タックルをしよう！ 仲間全員が同じ気持ちになれば、必ずこれからの大会で結果がついてきます。優勝しよう！

夏合宿を終えて

6年 黒須 楓

菅平合宿では、みんなで声を出してチームを盛り上げる事が出来るようになりました。

普段試合をしないチームと試合をして、練習では出来ている事が出来ないか事がありました。

秋に向けて小さいミスやキックオフのノーバウンドでとるなど、一つ一ついいいにして、大和ラグビースクールなど強豪チームに勝ちたいです。

夏合宿を終えて

6年 高橋 遼成

バイスカプテンとして参加する合宿は部屋のことより練習のことが気になりました。

練習でも試合でもキャプテン楓を助けようと思っていました。

でも個人的なぼくの夏合宿に向けて目標は3つありました。

1. 声を出す。
2. タックルをうまくなる

3、パスをうまくなる

です。

1、声を出すは自分の声を全て出せたと思います。たまに「おまえ何やってんだよ！」とかネガティブな言葉を口にしてしまったので マイナスな言葉は口にしないように気を付けたいです。

2、タックルをうまくなるはタックルして相手を倒す練習を集中してやったので 前に出て止められるようになりました。

これからはボールが出たら前に入るを意識して練習の成果を活かしてDFしていきたいです。

3、パスをうまくなるは合宿前より正確に速くボールを投げられるようになったので、次はもっとパスを長く遠くに投げられるようになるのが目標です。

四年生の時に合宿中にけがをして途中で帰ったのはとてもくやしい思い出です。

五年生は気持ち悪くなって途中で試合を休んでしまいました。

六年生は全部ちゃんと参加できたので、とても楽しい合宿でした。

夏合宿を終えて

6年 石井 晃

僕にとって菅平は初めての場所であり、初めてのラグビー合宿でした。

三泊四日、とても辛かった練習もたくさんありました。

僕はパス練習が「とても好きなんだ」ということにも気づきました。

ジャンボリーでは他県の強豪チームと戦うことが出来ました。

緊張して自信なんてとてもなかったけれど、タックルを何度もすることが出来たときはものすごく嬉しかったです。とても勉強になった合宿でした。

夏合宿を終えて

6年 石野 創太郎

僕は最後の夏合宿で菅平賞を取ることができて嬉しかった。

菅平賞を取れたのはタックルをする時の姿勢が良くなり、それを試合で活かしたことだと思う。

これからもそれを忘れないでやっていきたい。

他にも合宿で練習したリップを使ったりしたい。

夏合宿でがんばったこと

6年 卯月 快杜

僕が、夏合宿でがんばったことは、2つあります。

1つ目は、休まずに練習に取り組むということです。

なぜ、休まず練習に取り組むということをはがんばったのかというと、最高学年になって最後の県大会や、ファイナルカップや、ヒーローズカップがあって、優勝するためには、休まずに練習に、取り組まなければ、いけないと思ったからです。実際に夏合宿では、休まずに練習に取り組むことができたので、よかったと思います。

2つ目は、ジャンボリーでの試合で、夏合宿の練習でしたことを出来るようにするという事です。

なぜ、試合で、夏合宿の練習でしたことを出来るようにするというをはがんばったのかというと、練習で、できていても試合で、できなければ、練習した意味がないと思ったからです。実際に試合では、出来たこともあったけど、出来ないこともあったので今度の試合では、出来るようにしたいと思います。

最後の夏合宿

6年 楠元 隼

僕は、7月15日～7月18日まで菅平合宿に行きました。合宿では、パスの練習や、タックルなど色々な練習をたくさんしました。合宿はつらかったですが、すごく成長しました。試合では、タックルをたくさんすることができました。これからも、もっと成長したいです。練習以外も楽しくできました。

最後の夏合宿

6年 斎川 春朗

今年は、最後の合宿だった。
班長をやってみみんなをまとめられてよかった。
練習は去年よりきつくて長かったけど、やりきれた。
秋から県大会やヒーローズカップ、ファイナルカップがあるけど、合宿での経験を出し切りたいです。

最後の夏合宿

6年 佐藤 祐太郎

小学生最後の合宿となり目標もたくさんあったけど、初日の練習で手をけがしてしまい、コーチやチームのみんなにめいわくをかけてしまいました。
練習ではみんなに声をかけたり、アドバイスをすることができました。練習を見ていて、前よりみんな声を出して集中して練習に取り組むことができていたと思います。
県大会、ファイナルカップ優勝を目指してこれからも頑張っていきたいです。

夏合宿を終えて

6年 佐藤 仁紀

最後の夏合宿で頑張ったのは、チームを盛り上げるために声を出したことです。頑張って出したのがガラガラ声になりました。
合宿で今までより良くなったことは、いいオーバーを出せるようになったことと、少しはタックルが強くなったかなと思います。
ランパスは4年と5年の時にはみんなからすいぶんと遅れてしまいましたが、今年はなんとか付いていて良かったです。
全くできなかったのが、食事を残さず食べることです。野さいぎらいは、直りませんでした。

夏合宿を終えて

6年 菅田 光真

ぼくは最後の合宿で、できるだけがんばりました。特に大きく声を出すように意識してがんばりました。
あと、班長だったので3～4年をまとめたりすることもがんばりました。
合宿は今年で最後ですが、いつもの練習でも声を出してがんばりたいと思います。

夏合宿を終えて

6年 夏川 凌一

僕はこの夏合宿を通じて、行く前に書いた「体をつけてタックルに入る」ということが、試合でも1, 2回入れました。これを機に、これからも低く体をつけ、ペナルティーの時も前に出て倒したいです。

夏合宿を終えて

6年 原田 康誠

僕は、この合宿を終えて、できるようになった事があります。
それは、いつでも声を出し続けるという事です。僕は、前から練習中には声を出すようにしていましたが、試合で負けている時など、チームの空気が良くない時に、声を出せずにいました。でも、そういう時こそ声

を出してチームを引っ張っていかなければいけないと思ったので今年の合宿でそれをできるようにしようと思いました。

それで、1日目の午後の練習の時、ミスが増えてチームの雰囲気が悪くなったときに、僕は思い切って「簡単なミスは減らそう！」と声を出してみました。すると、みんながその掛け声にこたえてくれて、そのあとの練習を良い雰囲気の中で行う事ができました。

さらに、二日目の試合でも、いつもは出せていなかった様な場面で声を出す事ができました。そして、その度にみんなが何かしらの声を返してくれました。みんなが声を出してくれたから、僕は声を出し続ける事ができました。

僕は今まで、自分ひとりで声を出そうとしていました。でもこの合宿で、少しでも声を出せば、みんなが声をつないでくれるという事を、声を出せるようになったのと同じに知ることができました。だから、これからファイナルカップ、ヒーローズカップにむけて、きつい練習が続くけど、しっかりと大きな声を出して、キャプテンを支えながらチームを引っ張っていきたいと思います。

夏合宿を終えて

6年 畑佐 健太郎

今年の夏合宿は、これまで参加した中で一番厳しかったです。特に大変だったのは初日のウォーミングアップです。しかし、全ての練習を終えた時はとても達成感を感じました。サニアパークの試合は負けた試合もあったけど、タックルやトライもできてとても楽しかったです。これからの練習もがんばりたいです。

夏合宿を終えて

6年 土方 将嗣

最後の合宿を終えて、ぼくは、みんなの声かけや、ゲームメーカーとしてがんばりました。ぼくは得意の大きな声を使い、みんなをひっぱる事ができたと思います。この後、県大会、ファイナルカップなどがあるので、しっかりと一回一回の練習に集中して、その日の練習をラグビーノートに書きとめていきたいです。

そして積極的にパスアップやパス練習などの自主練習をして、うまくなりたいです。

また、すぐにポイントに行けるように、走りこんで足も速くなりたいです。

最後の夏合宿はとてもきつい練習だったけれども、枚方ラグビースクールと互角に戦うことができたので、良かったです。さらに練習を積んでもっと強くなり、県大会、ファイナルカップ、ヒーローズカップの三つとも優勝をしたいです。

夏合宿を終えて

6年 古川 達也

僕は一日目で、膝に怪我をしてしまったけれど、チームのみんな

走ったり、声を出したりと全てを精一杯やれたので、とても有意義な合宿でした。

小学生での合宿が今回最後と思うと、さみしいです。コーチの皆様、ご指導ありがとうございました。

夏合宿を終えて

6年 森下 響介

ぼくにとって今年の合宿は最初で最後の合宿でした。

ぼくはこの合宿で2つの目標を掲げました。

1つ目はセンターのポジションでボールが回ってきた時、自分が突っ込むかウイングまで回すか、より早く

良い方を選択できるようになることを目標に掲げました。その事を頭に入れ、試合に出ました。試合ではこの目標はあまりできませんでした。ウイングが空いているのに自分で突っ込んでしまいました。これから自分の試合を見直し、ダメだったところを直して県大会に挑もうと思います。

2つ目はみんながきついと言っている合宿を最後までやりきるという目標です。初日の練習からとてもきつく、「最後まで本当にできるのか？」と思っていました。練習を必死でやりきり、初日の練習を終えることができました。

次の日は、サニアパークでの試合でした。最後の試合で、始まって間もなく肩を亜脱臼してしまいました。なんとかその試合は最後までやりきる事が出来ました。

しかし、その後の練習に参加できず、とても悔しかったです。最終日はランパスをする事ができました。ランパスではみんなの心が1つとなり、精一杯頑張ることができました。この合宿はぼくにとって、とても思い出深く良い合宿になりました。

夏合宿を終えて

卯月 快杜 母 有加

心配と期待でドキドキワクワクしながら初めての夏合宿に送り出してから早 3 年、我が家の夏のはじめの恒例行事となっていた夏合宿が終わってしまいました。来年からはもう合宿がないのかと思うとしみじみしてしまいます。

昨年、合宿係として合宿に参加させていただき、とてもいい体験をさせていただいたと同時に、コーチやご父母のみなさんのご苦勞を知り、今年もぜひ合宿に参加したいと思い、3 日目、4 日目の試合と練習を見に行きました。

最終日、昨年同様、ランパスに参加しましたが、やはり子供たちのスピードについていけず(昨年の時点ですでについていけなかったのですが…)ちょっと残念でした。が、楽しい思い出となりました。

今回で 4 回目の合宿となりましたが、1 年 1 年にそれぞれの思い出があり、本当に充実した合宿だったと思います。

なかなかプレーでは活躍できないわが子ですが、合宿だけではなくラグビーを通じて精神的に成長させていただいていると、実感しています。

コーチ・合宿係の皆様をはじめ、練習のお手伝いをしてくださったお父さま方、お母さま方、本当にありがとうございました。

最後に、6 年生のみなさん、合宿お疲れさまでした。みんな最後までよく頑張ったね。麻生ラグビースクールと一緒にプレーするのも、残すところ半年余りとなりますが、みんなで頑張っていきましょう。…そして、DAGS でも一緒にプレーできることを楽しみにしています。

夏合宿を終えて

石野 創太郎 父 容資

最後の夏合宿が終わった。
今まで蚊の鳴くような声が大きな声に変わっていた。
皆で声を掛け合い、励まし合い、激しく当たり、しつこく絡み、がむしゃらにボールを追う子どもたちの姿を

見たのは初めてかもしれない。

汗を流し、どろんこになって、負けても一生懸命ラグビーをやる姿がまぶしかったし、格好良く見えた。頑張れ、次代を担う若者たち。

夏合宿で得たもの

楠元 準 父 剛

夏合宿から戻った翌日、隼に夏合宿の感想を尋ねたところ、「試合に勝つこともうれしいけど、試合の後のあいさつの時に、京都とか大阪のチームが『また、いつか、一緒に試合しようね！』とか声を掛けてくれて、”友情”っていうのかなあ？やさしい気持ちをかんじて、何かいいなあって思った。すごく、うれしい気持ちになった。」と、しみじみとした様子で話してくれました。

ラグビーを通じて、またひとつ、大事なことを学ばせていただいたようです。ありがとうございました。

夏は菅平だ！！

斎川 春朗 父

春朗は2年生から菅平合宿に参加しています。兄の夏央が3年生の時からの見学を含めれば、小学6年間の「海の日」は必ず菅平に居た事になります。怪我もなく練習を休むこともなく、良く頑張りました。今年は少し成長も見て取れました。「親子タッチラグビー」でのディフェンスの走りには、ちょっと「惚れ直し」もしました。

最終日は天気も良く、最高のランパス日和になりました。グラウンドから眺める山なみと夏空は、親父の心の奥底に「来年もまた来るぞ」の思いを刻みました。

さあ、秋からの県大会、ヒーローズカップ、ファイナルカップと続くシーズンをスクールの集大成です。悔いのないプレイを心掛けて下さい。

そして、親父を花園に連れて行ってくれ！

夏合宿を終えて

畑佐 健太郎 母 畑佐 順子

今年は最後の夏合宿、応援に行ったのはサニアパークの日だけでしたが、厳しい練習、強いチームとの試合、全てに全力で向っている子ども達の姿に感動しました。この夏合宿での経験を、県大会でもぜひ発揮してもらいたいです。期待しています。

夏合宿を終えて

古川達也 2年 古川 敦也 母

本年は、6年の長男、2年の次男で参加させて頂きました。

土曜早朝の練習から稲城のグラウンドとは違った雰囲気での練習でした。それは、全学年とても気合いの入ったよい雰囲気での練習でした。子供達の練習する目も時間が経つにつれ、さらに真剣になっていきました。みんなとても素敵なお目でした。

ご指導や宿での生活を見て下さったコーチの皆様、合宿の準備やお世話を下さった5年生の御父兄の方々本当にありがとうございました。

夏合宿を終えて

古川 達也 弟 2年 敦也

ぼくは、夏合宿に参加しました。年上の3年生と練習が一緒に出来てよかったです。

今年は試合がなかったのが残念でした。





5年生



後列左から 本田 翔太郎、川原 稜平、大原 琉来、佐々木 成己、小田部 晃太、本間 春輝、
中野 竜之介、野田 航佑

前列左から 小中 啄未、中原 侑温、小坂 龍平、諸田 章彦、河合 真輝、児玉 悠希

夏合宿を終えて

5年チーフコーチ 大坪 功

今年は高学年として、今までと違い班行動においても下級生の見本となり引っ張る立場です。副班長はもちろん、みんなに少しでもそういった意識が浸透していれば嬉しく思います。どうだったんでしょうかね～？！『One for all, all for one.』のラグビー精神です。

今年は強力な助っ人として古田コーチと河合コーチ(真輝パパ)、昨年に続いてダックスの小坂コーチ(龍平パパ)にも急きょ加わって頂き、技術面においては二つの事に集中して取り組みました。一つ目はやはりタックルです。久しぶりに基礎の膝付きタックルから1対1、新たにオフロードパスのところまで行いました。二つ目はスペースを見つけて切り込むスピード。少人数でのタッチフットを行い相手のスキを見抜く感覚を楽しみながらゲームの中で養いました。また、3対3のモールゲームを行い、激しい体のぶつかり合いを徹底して行いました。これは一番盛り上がり集中してくれました。子供はやはりこういう闘争本能を掻き立てられるゲームが大好きですね。

古田コーチにはフォワードを中心に見て頂き、バックスとの連携やサインの伝達、チーム戦術の意思統一等、コミュニケーションをとる事の大事さを指導して頂きました。また小坂コーチには根本的な事になりますが練習前には道具や荷物をきちっと整列させて臨むという精神。この事は当たり前のようになかなか出来ません。コーチが何も言わなくても生徒達が率先して出来るよう、今後指導していきたいと思います。本当にありがとうございました！是非来年もお待ちしております！

ジャンボリー大会は1勝2敗と負け越しましたが、最後に勝つことが出来た千葉RS戦では、気持ちが前面に出た攻めのタックルがバシバシ決まり、スペースを衝きボールを繋ぐ素晴らしい展開ラグビーを繰り広げてくれました。最後の最後に感動を与えてくれました！

菅平賞は最後まで迷いましたが、中原侑温さんに決めました。初日の朝から全開で練習に取り組み、常にチームを盛り上げようとした姿勢。また色々な掛け声でチームに一体感をもたらせ、良い意味でスクール全体を侑温コールで巻き込みました。これからも期待しております。

最後になりましたが、合宿係を買って出て頂いた方々他ご父母の皆さま、本当にありがとうございました。

た！夜のミーティングに皆さん総出で参加して頂いたり、最終日のコーチゲームの無茶ぶりに快く受けて頂いたり、今までにない一体感を感じましたし、皆さまの熱い思いを感じる事が出来ました。これからも三位一体で頑張っていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひします！

to win or not to win

5年担当コーチ 原田泰一

to be or not to be, that is the question. 直訳すると「生きるか死ぬか、それが問題だ」

あまりに有名なシェイクスピアのハムレットでの一節です。一言で言うと究極の選択ですが、我々が取り組むRUGBY、あるいはスポーツ全てが究極の選択である勝敗に拘り、勝利を求めていくという作業なのかもしれないと最近強く思います。勝利を目指す過程で個人としてもチームとしても様々な葛藤が生じ、それを乗り越えることで、一步先進めるのが真理なのかもしれません。その意味では、オリンピックをも含めたスポーツの商業化の波は益々高くなっていくのは必然なのでしょう。究極の姿はロシアかもしれません。草野球等に象徴される単に楽しむスポーツを探すのが難しい時代であることは、少し寂しい気持ちになります。

近年、小学校の通知表を見ただけでは、自身の立ち位置がどこにあるのかさえ見えてこない時代です。大人たちは努めて競争環境をそれと見せないようにし、それが究極の指導だという価値観を創ってきたように感じます。

一方で、社会に出れば過去にもまして熾烈な競争にさらされるのが現実であり、この意味では、小学生から分かりやすい競争環境であるスポーツに身を投じるのは非常に意義深いとも思います。個人的には麻生における「次代を背負う若者づくり」に感銘を受け8年程前から稲城に通い始め、現在に至ります。挨拶や周囲への気配り、思いやり等素敵な要素がたくさんある麻生のなかで、勝ちへの拘りの意味とは一体何なのかを考えさせられた菅平合宿となりました。

ジャンボリーは1勝2敗、学年試合は上下共に敗戦。試合を通してやんちゃなリトル・ラガーメン達の「俺は勝ちたい」の気持ちが溢れ出しており、負けた時のイライラやストレスが表面化。子供同士のいがみ合い、罵りあいも多く生じ、悩ましくもありました。でも、それゆえに人は競うことで成長するんだと改めて感じる部分もあり、色々と考えさせられます。

やんちゃな子供達が多い5年生、高学年として我武者羅に勝利を目指す姿勢はもっともっと強くなると思います。その温度に全員がついていけるのかも心配です。結果は大事、負けを目指して楽しいはずはない。でも、過程も大切であることは言わずもがな・・・ 今後も究極の自問自答が続きそうです

to win or not to win, that is the question

5年 佐々木 成己

ぼくは今年の夏合宿で、キャプテンの責任はとても重要だと思いました。練習などでぼくが自分から発言するのはいいと思うけど、理想を全てしゃべってしまって他の人の言いたいことを言わせなくしていたかもしれません。ぼくは学校でも学級委員で話し合いの司会をやります。その時も、自分から意見を言いすぎてしまい、みんなの意見を聞かずになっとくさせてしまうことがありました。

3日目の試合では1試合目2試合目と負けてしまいました。ぼくは責任を感じました。みんな3試合目は必ず勝ちたいと気合が入っていたので、次の目標をきめました。チームみんなの意見をよく聞くことが本当のキャプテンだと思いました。3試合目は見事に勝ちました。

県大会ではもっとみんなにしんらいされるキャプテンになって、全勝したいです。

夏合宿でできたこと、できなかったこと

5年 小坂 龍平

よかったのはタックルに3回ほどいけたことフォローでは、少しつけたのかなと思いました。悪かったところは、オーバーで何度か負けていたところとラインアウトのところでも何度かボールを取られるという場面が次起きないように直していきたいです。

5年 小田部 晃太

合宿の最後の試合で、トライにつながるようなオフロードパスがいっぱい出来て楽しかった。
また、帰りのバスでみんなとお菓子の交換とかして楽しく帰れたのも良かった。

2016 夏合宿

5年 本田 翔太郎

今年の合宿は3日目の交流試合から参加しました。
初日から参加出来なかったのが残念でしたが、BBQ 花火大会凄く楽しかったです。
今年の合宿は杉浦コーチからの課題もあり真剣に取り組んでいたと思います。
皆が色々と盛り上げてくれて、(特にゆおん)ランパスも昨年に比べて走る事ができました。
来年は最後の合宿、僕も盛り上げ役になり、初日から参加したいです。

5年 中野 竜之介

合宿ではあまり外で抜けなかったなので、これからは練習して、外で抜けるようになりたいです。
タックルはだいぶできるようになってきたけど、しっかりと相手を止めきれなくて抜かれることが多いので、
正確に止めれるようになりたいです。
合宿で一番楽しかったのはランパスで、みんなでたくさんのコールをしたのが楽しかったです。
大坪功コールも楽しかったです。

目標めざして

5年 諸田 章彦

今年の夏合宿でのぼくの目標は、低いタックルそして自分のポジション、ハーフの役わりの球出しを早く
上手にすることでした。
コーチたちに教えてもらい、自分でもたくさん意しきすることでコツをつかみ少しくまくなれたとおもいます。
合宿でがんばったことを試合でできるようにしたいと思います。
大きなけがもなく楽しく夏合宿をおくれてよかったです。ありがとうございました。

5年 本間 春輝

今年の合宿の目標としていたラック、モール、ブリッチをもっと磨きたいというのが目標を結構できたの
で良かったです。反省はたまにウイングをやらせてもらっているのですが、『最後にパスをもらってしっか
りと走ってあたる』が思うように出来なかったのが残念です。
これからの練習でコーチに沢山教えてもらいもっといろいろなことができるように頑張っていきたいで
す。

夏合宿

5年 河合 真輝

■夏合宿の目標

フォワードなのでオーバーができるようにしたい。

■反省

夏合宿の目標に入っていないタックルができた。しかしオーバーに入れているけどまだまだだった。

■楽しかったこと

3日目の3試合目の千葉ラグビースクールと戦って勝ったこと。

■苦しかったこと

小坂コーチが作ったタックルしたあとオーバーをする連続の練習

■県大会に向けての目標

タックルをするときは、止まって止めるのではなく前の方で止めたいです。オーバーは押し返されずに逆に
押し返して自分たちのボールにトライをとっていきたいです。あと優勝したいです。アタックでは2回目の

こうげきでスペースを見つけてそこにっこみ、少しずつ前に出てトライを決めたいです。あと試合中はトロトロ歩かないで走ってボールのあるところに行きます。

ラグビーが楽しかった夏合宿

5年 児玉 悠希

今回の夏合宿では初トライという大きな目標を達成する事が出来た。とても嬉しかったです。このことで大きな自信が持てました。自分もチームの一員として貢献出来るようになったのかなと思いました。とてもラグビーが楽しくなりました。

夏合宿を終えて

5年 野田 航佑

今年の夏合宿では、いつもよりタックルの一本一本を大事にして練習することができました。また、練習はつらかったけどみんなで励ましあって頑張れたからよかったと思います。秋の県大会では夏合宿で練習したことを活かして優勝したいです。

夏合宿感想

5年 大原 琉来

上級生や下級生との集団生活がしんせんでした。辛い事もあったけど、チームメイトと同じ目標を持ってはげましあいながら頑張れたと思います。県大会も頑張りたいです。

5年 小中 啄未

全体的には、楽しい合宿でした。朝は、お腹空いていたけど練習気持ち良かった。朝ご飯はメロンパンしか食べられる物がなくてあとは氷だけ食べていた。お部屋で5年生と遊ぶの楽しかった。BBQは肉を沢山食べられて美味しかった。それに、♪おおつぼいさお♪♪も楽しかった。ランパスは少しは少し辛かったが、最後まで付いていくこと出来て、良かった。また、来年も楽しく行きたいと思いました。

夏合宿を終えて

5年 諸田 章彦母 諸田直子

いつもお世話になっております。夏合宿でも大変お世話になりました。三度目の合宿はお手伝いではなく皆さんと共に作り上げる合宿でした。万全を期して挑んだつもりでしたが、コーチの方々にはご迷惑をおかけした点があったと思います。温かく見守りご協力いただいたおかげで無事おえることができました。ありがとうございます。又、他学年のお母様たちにもたくさん助けていただいて本当に本当に感謝しております。皆様ご協力ありがとうございました。これからも麻生ラグビースクールの子供たちが輝けるよう微力ながらお手伝いさせていただきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

夏合宿を終えて

5年 野田 航佑母 野田 朋見

今年は担当年で無事に合宿をサポートできるかすごく不安だったのですが、素晴らしい天候やコーチの皆さまのサポート、他学年のご父母の皆さまのサポート、そしてチームワークばっちりな子供たちのおかげで無事(?)終えることができほっとしています。5年のご父母の皆さまにもたくさんお手伝いいただいて本当に感謝しています。

また、5年のみんなはたくさん声を出してスクール全体を盛り上げてくれて、本当にいい合宿だったと思いました。たくさんいろいろなことを吸収した合宿の成果を県大会で発揮してください！
皆さま、お疲れさまでした。







4年生



2度目の夏合宿

4年チーフコーチ 小山田 俊広

7月14日の午後まで続いた雨も集合場所の黒川駅に着くころには上がってくれました。ここから好天に恵まれた3日間の4年生夏合宿は始まりました。往路のバスでは相変わらず静かにできない子供たちでしたが、明日からの不安感を紛らわすためにはやむを得ないところです。9時過ぎに無事山光館に到着、早速、班別行動に移りました。バス中での元気が好影響したのか就寝はスムーズにできていたと見回り担当コーチより報告があり安心です。

一夜明けた7時よりグラウンドで練習開始。学年別に分かれ最初は各自の目標発表から。キャプテンから順番にです。2度目の合宿なので大きな声で発表出来ました。初めての子もそれにつづきます。

練習では天然芝を楽しみながら、タックル後のセービングを練習しました。タックルを何度もやり直しをして、さらにタックルセービングと続きます。みんな体力を使い果たしながら全員が最後までやり切りました。あつととしゅうやのSH組は午後の練習前に自主練習で竹川6年コーチにSHのパスを教してもらいました。自分たちが少しでもうまくなりたいという気持ちが感じられてうれしかったです。

2日目午前中の練習後にサニアパークに移動してジャンボリーに参加です。第1試合で江戸川RSに敗れましたが、第2試合の都留RS戦では練習をしてきた、走り込んでパスを受けバックスの展開でトライをとることが出来ました。試合終了後は、敗れた時の約束通りにサニアパークから山光館グラウンドまでランニングです。これは落伍者なく全員が走り切りました。少々びっくりです。

最終日の学年対抗戦は、3年生に先制トライをとられるも、その後はゴール前の全員守備でトライを許さず6-1と逆転勝ちを収めました。5年生にも先制トライをされながら最後まであきらめず、粘り強い守備と前へ前への意識で5-4と勝利をすることが出来ました。昨日の敗戦から何を感じてくれたんでしょう。

最後のランパスはへばるコーチ陣をしり目に、全員が遅れている子を励ましながらか最後まで走り切りました。菅平賞は、参加した全員に渡したかったのですが、一人と言う事なので、そのスピードをさらに磨き、またウイングへパスが出せるようになり(それまでは一人で行こうとしてパスをしなかった。)最初から最後まで声を出してみんなを引っ張ってくれた荒木鷲摩君を選びました。

コーチ陣の合宿目標「味方をサポートし攻撃の継続を目指す」「仲間意識を持ち仲間と協力する」を充分

に、そして随所で見せてくれた子供たちに感謝です。彼らが6年生になっても負けずについていけるようにあらためて体を鍛えよう？と決意をせざるを得ません。
最後に合宿担当の5年生保護者の皆様お世話になりありがとうございました。そして合宿の応援に来ていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

夏合宿でのこと

4年 牛山 颯士

今年の夏がっしゅくで、一番心にのこったのは、サニアパークから走ってグラウンドまで帰ったことです。なぜかぜんぜんつらくありませんでした。もくひょうの方は、走りこんでタックルはできなかったけど、オーバーはよくできたと思います。
負けたし合もあつたけど、点さで勝ったし合もあつたのでよかったです。夏がっしゅくのけいけんを県大会はもちろんほかのし合にもいかそうと思います。

夏合宿

4年 日笠 温斗

ぼくの夏合宿の目ひょうは「ミスしないように遠くにパスをできるようにがんばる」でした。
まだまだですが、ラックのところからスタンドまであまりミスしないでパスできるようになりました。
あと、タックルやブラインドもまあまあできるようになりました。
これからももっと練習してうまくなって、県大会でゆう勝したいです。

夏合宿

4年 片岡 祐貴

僕は夏合宿の目標に立てた積極的にタックルをするということにはできたと思います。でもラックの時、すぐにオーバーに行くことができませんでしたので、これから 頑張りたいと思います。
合宿で一番心に残ったことは学年別対抗戦でトライができたことです。去年は 一度もトライできなかったもので、嬉しかったです。
夜のバーベキューも楽しかったです。最後におみやげにもらったレタスはとてもおいしかったです。

夏合宿の感想

4年 増田 悠真

初めての夏合宿は、強くて低いタックルを目標に参加した。
3日間ふだんできない事もたくさん練習して、少しは強くなったと思う。
できなかった事は、自分のポジションに気が付くのが遅いこと。
来年もさんかして、もっとラグビーがうまくなりたい。

ラグビー夏合宿

4年 鈴木 孝太

僕の夏合宿の目標は、「怖がらずにタックルをする」と「大きな声を出して仲間と一緒に練習を頑張る」でした。まだ少し怖くて思い切りタックル出来なかったけど、今までより早くオーバーに行けました。目標の大きな声を出して練習することはできませんでした。
僕は、合宿に参加するのは初めてでした。練習は、いつもより長くてきつくて苦しかったけど、普段より皆と仲良く過ごすことが出来ました。夏合宿が終わって前よりラグビーが楽しくなりました。また来年の合宿に行くのが楽しみです。

夏合宿

4年 渡邊 柊也

夏合宿では、僕は、ハーフなので早くボールの所に行き早くボールをまわすことを目標にしました。大きな声を出して、声がかれるくらいがんばりました。でもまだ、早くボールを出せなかったので、これからも同じ目標で頑張っていこうと思います。

夏合宿をおえて

4年 中村 和樹

夏合宿での目標は、パスした後のフォローできるようにして、オーバーしか行ってないときがあるから、ウイングの仕事をつねにいしきしたいと思いました。

合宿前はフォローがおそくて、ついていけませんでした。合宿をとおしてフォローがちゃんとできました。できなかったことは、大きい声をだせなかったためパスがもらえませんでした、ふだんの練習で声をだしたいと思います。

江戸川の試合で負けてしまってくやしかったのでふだんの練習できたえていきたいです。あと五年生とのしあいで勝てたのはすごいと思ったので、来年の六年生のしあいも勝ちたいと思います。

夏合宿

4年 佐藤 巧

- ◆夏合宿での目標 肩でぶつかるタックルを試合で出来るようになりたい
- ◆夏合宿で出来た事 大きな声を出せるようになってきた。
- ◆出来なかった事 タックルに行く時に横からいってしまう。
- ◆夏合宿の感想 最終日、きつかったけど、みんなで声を合わせて頑張れた事が一番の思い出です。

夏合宿

4年 荒木 鷲摩

1)夏合宿での目標

- トップスピードでボールをもらう
- 相手にタックルする時体でいく

2) 夏合宿でできたこと、できなかったこと

目標が2つとも達成できました。でもセービングは合宿中には出来るようになりませんでした。

3) 夏合宿の感想

目標が達成でき、菅平賞が取れて嬉しかったです。練習では試合に負けてサニアパークからランニングで帰ってきたのが一番キツかったです。

バーベキューと花火大会は楽しかったです。

夏合宿

4年 土屋 裕資

ぼくは初めての夏合宿を終えて、ラグビーに対しての意識が変わりました。体力と気持ちの強さが必要です。

ぼくがいちばんつらかったのは最後のランパス 10 周です。こんなに走ったのは初めてで、いままで以上に体力をつける様に頑張ろうと思いました。

サニアパークの試合についての反省は、江戸川チームと対戦したときのオーバーです。相手チームはオーバーがはやくて、ほとんどマイポーにできず残念でした。

サニアパークで悔しかったことを忘れずに、これから県大会までの練習に集中していきたいです。

ラグビー夏合宿

4年 鈴木 孝太 母親

コーチの方々、合宿担当の5年生の保護者の皆様、事前準備から合宿が無事に終わるまで、本当にお世話になりました。

ラグビーを始めて半年、親子共々、初めて経験させていただくことばかりの夏合宿でした。

同じ学年だけでなく、縦割りグループでの合宿は他学年の子ともふれ合えて、とても良い経験になったと思います。

私共は、合宿2日目の朝から3日目の夕方まで練習を見学させていただきました。菅平の豊かな自然に囲まれた素晴らしいグラウンドで、汗をいっぱいかきながら、子供たちは頑張っていました。この4日間の合宿で、たくましくなり、チームの結束が強くなったと思います。

合宿が終わり、バスから降りてきた子供達の顔には達成感があり、とても良い表情で帰ってくれました。帰ってきた息子の顔から、とても良い合宿であったことが伝わってきました。親子共々とても良い思い出となりました。

最後に、写真や動画等、お忙しい中、まめにアップしていただき有難うございました。来年も菅平に行けることを楽しみにしております。

夏合宿の応援に行つて

4年 日笠温斗の母

夏合宿の応援に、ジャンボリーの日と最終日に行きました。

たくさん練習したから確実に強くなっているという自信があったからか、ジャンボリーでは江戸川RSに惨敗し、たくさん悔し涙を流していましたね。

いつもなら、少し頭が痛かったり指を痛めたりしたらすぐに休んでいたのに、泣き言も言わず、痛みを押しつけていつも以上に力を発揮して立ち向かっていく姿を見たり、ラグビーが好きになってきたという言葉聞いて、これからどんな風に強くなっていくか楽しみで仕方ありません。

最終日の3年生戦と5年生戦に勝利し、ランパスでは誰も欠落することなく完走する姿を見て、4年生のみんな、本当に逞しくなったと思いました。

県大会に向けてみんなで思いをひとつにして練習し、あの悔し涙が嬉し涙へと変わることを楽しみに、これからも応援を続けていきたいと思います。

夏合宿の感想

4年 佐藤 巧の母

普段の練習では見られない、合宿ならではの気合の入った子供達の練習や試合の表情を見られてとても感動しました。3年生の時と比べて成長を肌で感じる事ができました。一人一人みんなよく頑張ったと思います。







3年生



3年生初めての夏合宿を終えて

3年チーフコーチ 角田 浩史

3年生のみんな、そしてコーチのみなさん、夏合宿お疲れ様でした。

お父さん、お母さんがいない3泊4日の合宿生活はどうだったかな？

楽しいこともあったけど、辛いこともたくさんあったと思います。だけど、朝から晩までラグビー漬けの日々も1年に1回くらいはいいものでしょう。

ラグビーは、体と体をぶつけ合う激しいスポーツです。だから厳しい練習に堪えなければなりません。これから先、苦しいことや辛いことがあった時は、厳しい夏合宿を乗り切ったことを思い出してください。鼻血を出しながらも練習や試合に出続け、汗を流し涙を流し、鼻水を垂らしながら菅平のグラウンドを走り続けたことを思い出してください。

コーチたちは、みんなが麻生RSを卒業して中学生⇒高校生⇒大学生⇒社会人になっても、ずっとラグビーを続けて欲しいと思ってます。ラグビーはそれだけの価値のあるスポーツです。

麻生RSのスローガンは「次代を背負う若者づくり」です。コーチたちもラグビーだけを教えるつもりはありません。みんなが他人から尊敬される立派な大人になってくれるよう、ラグビーを通じて色々なことを教えます。

今年は参加できなかった子もいたけど、来年の夏合宿こそは全員で目一杯走って涙を流して、菅平賞を誰にするかコーチたちを悩ませてください。そしてみんなが一回りも二回りも成長してくれることをコーチは楽しみにしています！！

夏合宿の思い出

3年サブチーフコーチ 山本 慎一

みんな いい思い出がたくさん作れましたか？

一緒に風呂に入ったこと、部屋で騒いだこと、花火がきれいだったことなど恐らくラグビー以外の思い出が記憶に残っていると思います。

それでいいんです。小学3年生の今しかできない思い出をたくさん作って下さい。

3年生のみなさんへ

3年サブチーフコーチ 夏川 純一

初めての夏合宿、楽しかったですか。たっぷり練習していっぱい試合をしてラグビーにどっぷりつかった4日間だったと思います。

夏合宿では、基礎体力の向上や基礎訓練をしっかりと行いました。合宿を過ごしたことで、当たりの力が向上した子も何人もいます。この調子を崩さず県大会までがんばっていきましょう。

これからは罰ゲームが少なくなるように集中していきましょうね。

夏合宿を終えて

3年技術コーチ 上田 博朗

3年生のみんな。夏合宿お疲れ様でした。初めての合宿で緊張もあったと思いますが、意外と楽しく過ごしていたように見えました。

さて、みんなは今年から7人で試合を行うこととなりますので、今まで以上にラグビーに対するプレーのスキルやルールの理解が必要になってきます。

コーチは去年まで高学年のコーチをしてきました。そこで感じたことは強いチームはみんな基本的なスキルがしっかりとできることです。べつに華麗ですごいプレーができることではないのです。

今のみんなにはこれから他のスクールに負けないために、しっかりと基本のプレーを学んでほしいと思っています。

夏合宿でやったハンドリングスキルの練習、ストロングポジションの作り方、コンタクトの姿勢、ダウンボールの仕方など地味ですがとても大切なプレーです。しっかりとコーチたちの話を聞いて身に付けていってください。そして、どこにも負けない基本プレーの上手なチームになっていきましょう。

3年生のみんなへ

3年コーチ 加賀 司

初めての夏合宿、期待と不安を胸に挑んだ3泊4日の合宿はどうでしたか。

それほど気温も高くなく、涼しい高原での練習はバテてテントで休む子供も少なく、自分の決めた合宿での目標を少しでもクリアできたかな。

角田コーチから出された夏休み中の宿題も毎日やっているかな。「継続は力なり」これから初めての県大会に向かって、個人の技術力をアップさせ、チームプレーで優勝を目指そう。

最後に、帰りのバスではうるさく、ゆっくりとビデオが見られませんでした。

来年は4年生として恥ずかしくないように後輩の3年生のお手本となるようにできるかな。

2016 夏合宿

3年コーチ 牛山 健太郎

合宿に参加されたご父兄、コーチ各位、お疲れ様でした。

子供たちは、けいすけとあかし、るいが不参加で残念でしたが、他は皆揃って練習に試合に集中して臨んだ初めての合宿でした。

天候も大きく崩れず、心配したテント組も一時数える程。全体を通し大きな怪我や病気に見舞われることなく、充実した合宿だったと思います。

コーチは3日間で子供たちのプレーや個性の理解を深めることができ、コーチ間のコミュニケーション強化

も進んだように感じます(贅沢を言えばもう一日欲しかった！)

個人的には6年ぶりのフル参加でした。最後のランパスと一緒に走れなかったのが心残り。来年を楽しみにしたいと思います。

夏合宿の感想

3年 福岡 遼(ふくおか りょう)

合宿でできた事はタックルで、できなかった事はポストです。うれしかった事は長野を0におさえた時です。くやしかった事はダウンボールをしないでボールをなげて取られた事です。

できなかった事はこれからのれんしゅうでがんばりたいです。

キャプテンとしてチームをまとめてけん大会にむけてがんばりたいです。

合宿での4年生とのしあい

3年 菅田 葵(すげた あおい)

私は4年生とのしあいで、前の日の夜のミーティングで言われた、だいちの「相手のボールにからみ出せなくするプレー」を聞き、私もいきしようとおもいました。でも、こわくてあまりできませんでした。

これからは、だいちのプレーをみならい、できるようになって、みんなのお手本のバイスキャプテンになりたいです。

夏合宿の感想

3年 毛利 蒼矢(もうり そうや)

夏合宿でできてうれしかったことは、試合中のオーバーが一度できたことです。

それと、4年生との試合でトライがとれて、とてもうれしかったです。

できなかったことは、いきおいのあるタックルです。

試合中にトライを決めようと思ったら直前に相手につかまってしまって、とてもくやしかったです。

夏合宿はとても楽しく、もっとラグビーを上手になりたいです。

また来年も合宿に行きたいです。

夏合宿

3年 宮本 大地(みやもと だいち)

菅平賞がとれてうれしかった。また、来年もとりたいです。バーベキューがおいしかったので、また来年もきたいです。400メートルを3周も走ったのでつらかったです。

また、来年も走ります。ミーティングが夜にあったのでねむかったです。

「夏合宿」

3年 千秋 勇都(せんしゅう はやと)

楽しかった。あつという間だった。相手は4年生もいたけど試合も負けなかった。来年の合宿が楽しみ！県大会がんばる。

初めての夏合宿

3年 河合 遼真(かわい りょうま)

■夏合宿の目標 トライを3本とってし合にかちたいです。

■反省 (ラック時に横からはいっちゃったのでそこをなおしたいです。

■楽しかったこと 昼休みやバーベキュー、行き帰りのDVDです。

■苦しかったこと 400mを3周した事、ランパスを9周した事です。

■県大会に向けての目標 もっとタックルをひくく入るとオーバーを負けないようにれんしゅうしてうまくなりたいです。

夏合宿の感想

3年 星野 賢吾(ほしの けんご)

ぼくは初めての夏合宿でした。一番心に残ったのは、入ったばかりなのに試合で2トライもできたことです。

それと、練習やバーベキュー、花火大会をやったので楽しかったです。いっしょの部屋の班の人は、やさしかったりおもしろかったです。また友達と仲良くできました。素敵な合宿でした。また来年も行きたいです。

夏合宿の感想

3年 西岡 綜介(にしおか そうすけ)

合宿で出来なかった事はトライとポストとホローと声です。

出来たことは、タックルです。

面白かったことは試合です、悔しかった事は四年生に負けた事と1回同点だったことです。うれしかったことは、それ以外試合で勝てたことです。

はじめての夏合宿

3年 萬場 愛実(まんば まなみ)

わたしは、今年がはじめてがっしゅくをしました。わたしのポジションは、ハーフで、B チームです。わたしは、このがっしゅくでパスとタックルがうまくなりました。パスは、パスするあいてのハンズアップをしているところにほうることをまなびました。

タックルは、ひくいしせいであいてのあしのひざのうらをパックしておすことをまなびました。

つらかったことは、外周とごはんでした。外周は、3 週くらい走って 3~4 位になれました。ごはんは、まいにちあさひるばんのこさずたべました。

わたしはこのがっしゅくで学んだことを、しあいや大会でさいだいげんにいかしていきたいです。

夏合宿の思い出

3年 佐上 海人(さがみ かいと)

ぼくは、はじめて合宿へ行きました。行く前は、とてもきんちょうしたけど、行ってみたら、とてもたのしかったです。

それは、大すきなおかずが出たからと、へやがとても広かったのと、7はんのみんなでテレビをみたからです。

れんしゅうの時はタックルが全ぜん上手くできなかったけど、し合の時はタックルができたと思います。

これかられんしゅうをいっぱいがんばってし合に出してもらえるようにがんばります。

夏合宿の感想

3年 小中 征人(こなか まさと)

練習の時間が多くて 休む時間が少なくて大変だった。もう少し休む時間が欲しかった。

部屋に同級生が 少なかったのが寂しかった。

野菜のご飯が多くて、大変だった。

だけど、

また来年も行きたいと思いました。

夏合宿の感想

3年 関口 和佳奈(せきぐち わかな)

合宿の練習はすごく疲れて、夕飯を食べたのかどうか覚えていません。

グラウンド一周を何回も走ったけど、ラグビーを始めてすぐの時よりは走れた気がする。

でも、最後のランパスがすごくたくさん走って疲れた。

タックルの練習でほめられることが多くて嬉しかったです。

自分でもタックルが低いところに強く入れて、怖さが少しなくなったと思います。

ジャンボリー大会の1試合目は負けたけど、2試合目、3試合目は勝って嬉しかったです。

キャプテンに初めてなって、試合前のジャンケンが緊張したけど、お父さんとお母さんが応援に来てくれていて、少し緊張がやわらいた。

来年の合宿では最後のランパスが少しでも疲れないう、普段の練習もがんばります。

来年も合宿が楽しみです。」

夏合宿の感想

3年 島田 恭助(しまだ きょうすけ)

■夏合宿の目標 タックルとトライをきめられるように練習をする。

■夏合宿でできたこと タックルです。

■夏合宿でできなかったこと トライです。

■夏合宿の感想 最初はわくわくして、へやはどうかな？風呂はどうかな？とか思っていました。

次の日の練習が始まったとき1日目はよゆうだつたんだけど2日間目、かたと足がきんにくつうになってあまり早く走れませんでした。

3日目つになってきんにくつうがとれて2日間よりは速く走れるようになった。2日間にくらべてよりよく練習ができた。

4日目になって1日目と同じようになって、より元気になって帰れた。おわり

夏合宿

3年 黒須 樟(くろす しょう)

菅平のバーベキューが1番楽しかったです。

試合はオーバーをがんばってかてたからうれしかったです。

県大会では、タックルをがんばってゆうしょうしたいです。

夏合宿の感想

3年 君村 界(きみむら かい)

■夏合宿でできたこと 練習でコーチに教わった通りにタックルができて、相手を倒すことができた。

■夏合宿でできなかったこと トライができなかった。(お母さんコメント:初めてということもあり試合ではとても緊張したそう)

■夏合宿でうれしかったこと 合宿でいっぱいラグビーの練習できたこと、仲間の顔と名前を少し覚えられたこと、試合に出れたこともうれしかった。花火大会がとても楽しかった。(お母さんコメント:親がびっくりした)

■夏合宿でつらかったこと 最後の日のパス練習はコートの中を8周ぐらい走る練習がとてもきつかった。(お母さんコメント:特にはないけれども、グラウンドを4周走ったのが一番つらかったそうです。実際に走って苦しいという状況をあまり体験したことがないため、持久力を要する運動はつらかった模様。親としてはどんどん体を動かして、日々余る体力を消耗して欲しい限りです。w)

■夏合宿でくやしかったこと 試合で負けたことがくやしかった。

(お母さんコメント:ボールをもらってもどうしてよいか分からないこともあり、ルールや技術を身につけて、今後につなげてどんどん成長して欲しいです。)

夏合宿の思い出

3年 笹崎 善太郎(ささざき ぜんたろう)

最初は不安だったけど、上級生とも仲良くなれてよかった。

いっぱい走って苦しかったけど、楽しかった。

22年ぶりの菅平

3年 宮本 大地の父

まず始めに、熱心にご指導いただきましたコーチ各位、そして献身的なサポートをしていただいた5年生ご父兄の皆様に深く御礼申し上げます。

聖地菅平は今も変わらず輝く天然芝のよい香りが漂う贅沢すぎる環境で、子供たちにとってこのような場で合宿することができることは今後のラグビー人生にとって大きな財産になることと思います。私自身は2日目のサニアパークからの参加でしたがまず目に飛び込んできたのはコーチの檄に追われながらも必死にプレーする子供たちの姿、そして遥遥、菅平まで子供たちの応援に駆けつけた熱心な保護者の皆様でした。(あまりにいつもと変わらぬ面々に逆に違和感が・・・)

他県の4年生主体の相手にも臆することなく果敢に向かっていく姿勢、グラウンド周回、ランパス、黒く遅くなってバスから降りてくる姿に不覚にも目頭が熱くなってしまいました。私自身もランパス、バーベキューと参加させていただきましたが非常に楽しい時間で来年はしっかり体力づくりをして挑みたいと思います。感動をありがとうございました。

夏合宿がもう終わってしまった

3年 千秋 勇都の父

今年から正式に夏合宿参加。早いものでもう3年生なんだなあとあらためて実感しました。

一昨年 卒業した長男に帯同する形で幼年少より菅平の地を踏んでおりましたのでもう既に勇都(はやと)も菅平暦6年を数えるようになりました。

一昨年までは、どちらかという虫捕りと水鉄砲で遊ぶのが主体でしたが(笑)、昨年は贅沢にもサニアでの試合も経験し、ようやく夏合宿らしくなりました。

そして待ちに待った今年の夏合宿！ 楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいますね。

自身が親コーチとして幼稚園から見てきた学年だけに、子供達みんなの成長ぶりが感慨深いです。

有意義な時間を過ごせたのも、ひとえにコーチの皆様の熱いご指導のおかげと感謝しております。

特にご子息が他学年にいらっしゃる夏川 co・牛山 co・芝田 co におかれましてはサニアでご子息の試合を観戦したい筈ですが、3年生の指導と引率に専念いただきました事、申し訳なく恐縮すると共に、この場をお借りしてあらためて御礼申し上げます。

また最後になりましたが、5年生御父母を中心にバックアップいただきました保護者の皆様、グラウンドでの練習・試合に専念出来る環境をご用意いただきまして誠に有難うございました。

はぁ……。今年の夏合宿がもう終わってしまった……。

来年の合宿が待ち遠しいですね！ 待ちきれない(笑)あと何にちだ～。

夏合宿の感想

3年 君村 界の母

ルールも知らない超初心者の息子を試合に出させてくれ、温かく接してくださるコーチ、チームの子どもたちに感謝の気持ちでいっぱいです。お陰様で合宿も楽しく過ごせたようで、「やめるー」とか言い出すのではないかと思います。練習から戻るたびにラグビーが好きになるようです。おそらく最初の移動のバスが一番不安だったのではないかと思います。

試合中に目を叩かれたやら、結構接触にはビビってはいるものの、ラグビーを楽しんでいる息子です。このまま練習をしてチームに貢献できるプレーができるようになるといいなと思っています。

お試して参加したときには自己紹介も自分でできず、角田コーチに代弁していただいた息子ですが合宿

から戻ると、挨拶が少しづつできるようになってきました。(未だに、ぼーっとしているときも多々ありますが)挨拶や礼儀など、基本的なことができるようになることが親としてはとても嬉しいです。

集団競技ならではの、チームワークとチームプレーを体で覚えて、怪我をしたり、怪我をさせたりしないように心も体も成長して欲しいと思います。平成ならではのへたれな部分が沢山ですが、昭和の厳しさと愛情でビシビシ今後ともよろしく願いいたします。



3年生： 初日往路バス。晩ご飯中のスナップ



3年生：試合後のスナップ@サニアパーク



3年生：グラウンドでのスナップ1



3年生： グランドでのスナップ2



3年生：2日目晩ご飯後の夜学と3日目のBBQ

法政二高ラグビー交流戦

月日:7月3日(日)

場所:法政二高グラウンド

【試合結果】

〈6年生〉

麻生A○4-1●田園A

麻生B●2-3○田園B

麻生B●4-5○川崎

麻生A△2-2△江戸川

麻生A●1-4ワセダクラブA

麻生B●0-4ワセダクラブB

菅平ミニジャンボリー

月日:7月17日(日)

場所:サニアパーク

〈3年生〉

麻生A △15-15△ 宇都宮少年RS

麻生B ● 5-45○ 佐野・館林RS合同

麻生A ○35- 0● 長野RS

麻生B ● 5-50○ 山梨県RS

〈4年生〉

麻生 ●15-30○ 江戸川RS

麻生 ○60- 0● 都留RS

〈5年生〉

麻生 ● 5-20○ 高崎RS(全員女子)

麻生 ●15-25○ 魚津・吉鳥RS合同

麻生 ○40- 5● 千葉RS

〈6年生〉

麻生A ●20-25○ 枚方RS

麻生B ○40-10● 京都プログレRFC

麻生AB ●5-30○ かえでRS



















編集後記

今年は悪天候の中、菅平へ向けて子どもたちを乗せたバスは出発しましたが、翌日からはラグビーをするには丁度良い天候で何よりでした。今年は合宿には参加できませんでしたが、子どもたちの合宿の感想、宮澤コーチ、キムコーチや保護者の皆さまが撮影された沢山の写真をみると、充実した3泊4日だったことが伺えます。夏合宿での成果を、県大会で遺憾なく発揮し各学年が次号で優勝報告できることを期待しています。

編集長 野田

麻生リトルラグーマン NO. 109

発行日／平成 28 年 8 月 15 日

発行者／三浦 幸宏(042-338-7536)

編集長／野田卓人(044-281-9788):E-メールアドレス tactn@me.com

副編集長／小松正巳

編集委員／外岡幸隆・京屋宜正・大原広生・牛山健太郎・千秋杉雄・室井秀夫・曾我浩

表紙題字:元全日本監督 日比野弘氏 ホームページ <http://asaors.com/>